

長野県丸子修学館高等学校 現場見学会



国土交通省
関東地方整備局 長野国道事務所

未来の建設産業担い手確保・育成を目的として、3Dデータを用いたビューアモニタ閲覧、自動追尾測量体験、UAV測量による飛行撮影の実施など、施工中の法面工事を紹介する現場見学会を開催しました。また、当該校出身の若手社員による経験談の発表と、ドローンによる記念撮影を実施。未来を担う生徒さんの職業選択の一つに建設業界があることを願います。

開催日：令和8年6月24日

見学者：長野県丸子修学館高等学校 総合学科2年生
(総合学科・工業分野) 33名(男性30名・女性3名)

R7国道19号生坂地区災害復旧(その2)工事 現場見学会



3D設計データのモニタ閲覧



工事説明パネル設置



UAVによる3Dレーザー
測量の実演見学



自動追尾測量体験



若手技術者による経験発表



■生徒の感想

- ・なかなか工事現場に入ることが出来ないので、とてもワクワクしました。興味が沸く話ばかりで聞いていて面白かったです。本当にありがとうございました。
- ・ドローンのレーザーを使って3次元で設計や測量など想像していたよりも危険な場所での測量が少なく安心した。
- ・情報化技術がこんなにハイテクだと知らなかった。作業員の負担を減らす良い技術だと思った。
- ・物凄く高いドローンを使うとは知らなかったのもっと詳しく知りたいと思いました。
- ・現場でどんな作業をしているのか、よくわかるとても良い経験が出来たと思いました。
- ・女性の方も技術者として仕事をされている事が知れてよかった。
- ・ドローンなどで効率はあがったけどまだ人にしか出来ないこともあると感じた。
- ・土木の仕事や今の測量の仕方など、新しいことが知れた。

R7国道19号生坂地区災害復旧(その2)工事

株式会社 宮下組
MIYASHITA